



入場無料

2022.2/14 月 - 3/31 木

月・火・木～土 10:00-16:30 水 13:00-16:30

(入館受付は16:00まで)

※日曜、祝日は休館。但し、2月27日、3月13日は開館[10:00～16:30(入館受付は16:00まで)]

京都産業大学ギャラリー

京都市下京区中堂寺命婦町1-10 京都産業大学壬生校地むすびわ館2階

講演会

① 勝林院の歴史と最新の調査成果

講師 天納 玄雄氏 (実光院住職)

② 本尊納入仏の修理と発見

講師 八坂 寿史氏 (美術院工房長)

※詳しくは裏面をご覧ください



①

第24回企画展

京都大原・魚山大原寺 勝林院と僧坊

— 京都産業大学 大原東部の調査成果 —



修理後初公開!!

③



②

①「勝林院本堂 (南側上空より撮影)」写真提供：(株)文化財サービス ②『和字 大原問答上下』個人蔵 ③「勝林院本尊納入仏 阿弥陀如来坐像」勝林院 所蔵 写真提供：山崎 兼慈氏



京都大原・魚山大原寺

勝林院と僧坊

— 京都産業大学 大原東部の調査成果 —

魚山大原寺勝林院は長和2年(1013)に寂源により声明念仏三昧の根本道場として創建されました。約90年のち聖心大師良忍によって来迎院が創建されると、二つの本堂を中心として僧坊が建立され、多くの僧侶が声明の研鑽をする拠点となりました。勝林院と来迎院を中心とした大原東部の寺院群は、魚山大原寺と総称されるようになります。

京都産業大学は平成23年(2011)より文化学部教授が中心となり、ギャラリー学芸員や博物館学芸員課程の学生とともに、大原・魚山勝林院について本尊・阿弥陀如来像とその納入仏や寺院の文献資料判読、現地でのフィールドワークなど多面的な調査を行ってきました。

勝林院本尊納入仏の一躯、阿弥陀如来坐像(平安時代成立)は損傷が激しく令和3年(2021)公益財団法人美術院にて修理が実施されました。また令和2年度より株式会社文化財サービス協力のもと大原東部を上空よりドローン撮影し、勝林院本堂や僧坊の庭園についてデジタル復原を行っています。本展示ではこれらの調査・研究成果について紹介いたします。この機会に

京都大原・魚山大原寺の歴史の一端に触れていただければ幸いです。



「洛北大原之図」京都産業大学図書館 所蔵



「声明楽譜」美光院 所蔵



「本尊阿弥陀如来像3D計測」写真提供：(株)文化財サービス

◆ 講演会 ◆

1 勝林院の歴史と最新の調査成果

講師 天納 玄雄 氏 (美光院住職)

日時 2月27日(日)
12:30 開場 13:00 開演
14:30 終了(予定)

2 本尊納入仏の修理と発見

講師 八坂 寿史 氏 (美術院工房長)

日時 3月13日(日)
12:30 開場 13:00 開演
14:30 終了(予定)

1、2とも

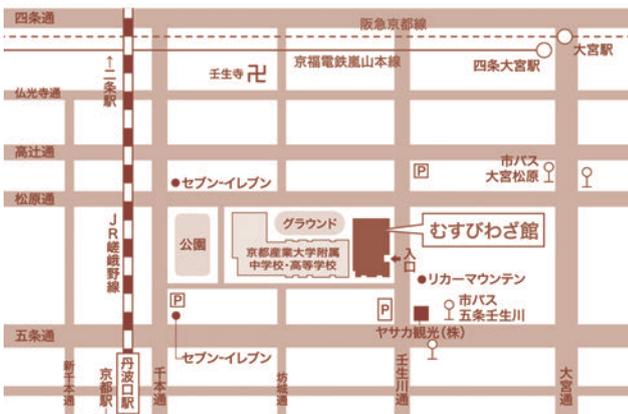
場所 むすびわが館ホール 定員 90名 (事前申込制・先着順)

申し込み先 <https://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/>

入場無料

※京都産業大学公式ホームページのインターネット申込みフォームよりお申込みください。申込期間にかかわらず、定員に達した時点で受付を終了します。応募の際にご提供いただきました個人情報、講演会以外の目的では使用いたしません。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため客席数が限られております。講演はオンラインでも配信をいたします。詳細はHPをご確認ください。



交通案内 むすびわが館

- ◆ 丹波口(JR) 徒歩 約7分
- ◆ 大宮(阪急) 徒歩 約11分
- ◆ 四条大宮(京福) 徒歩 約11分

※駐車場・駐輪場はございませんので、ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。

■ 次回予告 ■

「女子宮廷装束の華」

2022年5月18日(水)~7月9日(土) [予定]

問合せ先 京都産業大学 むすびわが館事務室

(平日 9:00~16:30)

TEL:075-277-0254 FAX:075-277-1699

[WEB ページ] <http://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/gallery/index.html>

[メール] galler-office@star.kyoto-su.ac.jp